

I 平成31年度普及指導方針（案）

当管内は北上山系の南部に位置し、管内総面積の約7割を森林が占める中山間地域である。農業産出額は畜産（肉用牛・乳用牛・養鶏）が全体の約半分を占めている。また、夏期は、偏東風（ヤマセ）により低温になることが多く、冬期は、比較的日照が多いことから、輪ぎくやいちご、冬場の葉物野菜など、地域条件を活かした品目が生産され、ブランド化が図られてきた。

こうした中、平成23年3月に発生した東日本大震災により、沿岸部の農地と農業用機械・施設に甚大な被害を受けた。震災後は、関係機関・団体が連携し、国などの支援策を活用しながら、施設の再建や機械・資材の導入をすすめる、被災農家と担い手組織の経営安定に向けて支援してきた。しかし、生産現場においては、ほ場の排水性や地力回復、担い手組織の雇用管理などに関する多くの課題があり、経営は未だ不安定な状況にある。

また、当管内は震災以前から農業従事者の高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加などの課題があり、震災後はそれらが一層顕在化しており、農業産出額の大幅な減少や農業・農村の活力低下が懸念される。

県では、「宮城県震災復興計画」における農業分野の個別計画として「みやぎの農業・農村復興計画」を策定し、農業生産力の早期回復や新たな時代の農業・農村モデルの構築に重点的に取り組んでいる。本計画では、復興の目標を平成32年度としていることから、今年度は、復興の総仕上げに向けた重要な年となる。

このような状況を踏まえ、平成31年度については、「地域基本方針（平成28年度～32年度）」や「気仙沼・本吉地域農林業振興方策」などとの整合を図りながら、次の重点活動事項について関係機関・団体との密接な連携のもと、積極的な普及活動を展開する。

重点活動事項

- 1 魅力ある気仙沼・南三陸農業の再興
 - (1) 津波被災地域の営農確立支援
 - (2) 地域営農システムによる復興モデルづくり支援
- 2 次代の地域農業を担う経営体の育成支援
 - (1) 立地条件を活かした農業生産の進展
 - (2) 創意工夫により経営改善を図る経営体の育成
- 3 海・山・里の恵みを活かした活力ある地域農業の展開
 - (1) 中山間農業を支える担い手育成
 - (2) 豊かな地域資源を活かした魅力ある農村づくり

1 魅力ある気仙沼・南三陸農業の再興

(1) 津波被災地域の営農確立支援

津波被災地域において営農を再開した農業者及び担い手組織については、早期の経営安定に向けて、主力品目である水稻、ねぎ、いちごなどの生産技術や経営管理について支援する。また、市町・JAの復興計画の具現化に向けた取組を推進する。

- ①ほ場整備地区の営農組織への継続的な支援と新たな担い手の確保
- ②「南三陸ねぎ」のブランド化に向けた支援
- ③営農再開されていない原形復旧農地の活用支援

(2) 地域営農システムによる復興モデルづくり支援

地域農業の復興モデルとなり得る経営体については、労働力の確保や作業内容の最適化などの課題解決を図りながら、新たな地域営農システムの確立に向けて支援する。

- ①集落の合意に基づき、農地の集約化や新たな作物を導入する組織などの経営確立を支援
- ②大規模施設の導入などにより経営の高度化を図る経営体の育成支援
- ③農地中間管理事業を活用した地域営農ビジョンの策定支援

2 次代の地域農業を担う経営体の育成支援

(1) 立地条件を活かした農業生産の進展

立地条件を活かした多様な農業を振興するため、環境に適した作目や作期拡大、IPMや環境モニタリングデータ活用技術などの新しい技術の導入を支援し、生産拡大とブランド化を図る。また、消費者から信頼される安全・安心な農産物を生産するため、GAPの取組を推進するとともに、農業資材の適正使用や堆肥の有効活用など、環境と調和した農業生産を推進する。

- ①土壌改良プログラムによる復旧農地での農作物安定生産支援
- ②栽培・家畜飼養管理技術の改善による技術レベル向上支援
- ③新技術や省力化技術などの導入による安定生産と生産コスト低減支援
- ④新たな地域特産物の育成や利用拡大、新規作目・品種の導入支援
- ⑤農業資材の適正使用やGAP（農業生産工程管理）、IPM（総合的病害虫管理）などの普及
- ⑥WCS用稲や飼料用米の作付拡大による粗飼料自給率向上支援
- ⑦耕畜連携による堆肥の広域流通体制整備への支援
- ⑧家畜ふん尿や廃プラスチックなどの適正処理支援

(2) 創意工夫により経営改善を図る経営体の育成

経営者の経営管理能力向上を図るため、生産技術、財務・労務管理及び販売管理などを総合的に支援するとともに、経営感覚に優れた経営体を育成するため、消費者ニーズを捉えた商品開発や加工、販売に向けた取組を推進する。

- ①経営改善のための財務管理能力及び労務管理能力の向上支援
- ②経営の多角化・高度化及び、法人化志向経営体に対する法人設立支援
- ③消費者などのニーズ把握とマーケットイン型農業の取組支援
- ④異業種や専門家などと連携した付加価値の高い生産・加工・販売の展開支援

3 海・山・里の恵みを活かした活力ある地域農業の展開

(1) 中山間農業を支える担い手育成

新規就農者の確保・育成に当たっては、関係機関と連携し、受け入れる経営体の就業環境整備などを進めるほか、就農間もない農業者に対しては、技術と経営の両面について支援する。また、生活研究グループや女性起業家、農産加工を指向する女性農業者などが取り組む、農産加工や食育活動を推進する。

- ①新規就農者の確保育成に向けた、新規就農計画や経営改善計画の作成支援
- ②マンツーマンの技術・経営指導による新規就農者への支援
- ③高校などと連携した青少年の農業現場体験や地域農業の理解促進
- ④生活研究グループなどによる、地域食材を活用した加工品開発などの取組支援

(2) 豊かな地域資源を活かした魅力ある農村づくり

豊かな地域資源を活かした農村づくりを進めるため、女性農業者グループなどの6次産業化の取組を推進するとともに、しょうがや薬用作物（トウキ）などの地域特産品づくりや鳥獣被害の減少に向けた地域的な取組を支援する。

- ①女性農業者グループなどの6次産業化・農商工連携に向けた取組の支援
- ②しょうがなどの地域特産品を活かした中山間地域農業モデルの育成支援
- ③農産物直売所（市）の持続的な発展に向けた運営や活性化策などへの支援
- ④有害鳥獣対策への地域的な取組支援